

第5学年 社会科学習指導案

1 単元名 自動車をつくる工業

2 目標

- 我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べ、働く人々の工夫や努力によって国民生活を支える我が国の工業生産の役割や発展について考えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 我が国の自動車工業について調べた事実を関連付け、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業の発展について考え、適切に表現することができる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 我が国の自動車工業について具体的な調査活動や文章、写真資料、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをワークシートやカードなどにまとめることができる。
(観察・資料活用の技能)
- 我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きや自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材観

小学校学習指導要領社会の第5学年の目標には、我が国の産業の様子、産業と国民生活との関連について理解できるようにすること、社会的事象を具体的に調査するとともに資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力を育てるようにすることが示されている。これを受けて本単元では、日本を代表する工業である自動車工業を取り上げ、そこに従事する人々の工夫や努力、貿易や運輸などの働きに支えられて生産されていること、環境や人にやさしい車をつくるために研究・開発を重ねていることなどを手がかりにして、我が国の工業生産が国民生活の向上や産業の発展に果たしている役割を考えられるようにする。

(2) 児童の実態

本学級の児童に対して、米づくりの学習における社会的事象の意味について考えることの実態調査（平成*年*月*日実施、第5学年*組*人）を行った。米づくりの体験に基づき、農家の工夫や努力について自分の考えを述べる問題では、具体的事実のみの記述にとどまった児童が*人であった。また、調べたことを関連付け根拠を基に述べる問題では、*人の児童が適切に記述できなかった。この結果から本学級の児童は、具体的事実の羅列のみで社会的事象をとらえており、社会的事象の意味について考える力に課題があることが分かった。これまでの指導において、児童が具体的事実を関連付けて考えたり、具体的事実を根拠として自分の考えをまとめたりする学習活動を指導計画に適切に位置付けておらず、その工夫が不十分であったと考えた。

(3) 指導観

本単元では、児童の疑問から学習問題を設定し学習計画を立て、工場見学や調査活動を行う。児童はこれらの活動で得た具体的事実を分類し関連付けながら、その関連性や因果関係が分かるように整理し、社会的事象の意味を解釈して自分の考えをまとめる。そして、社会的事象の意味について今後の展望という新たな視点から学習問題を設定し、これまでの学習で関連付けた具体的事実を振り返り、それを根拠として自分の考えをとらえ直す学習活動を行う。これらの学習活動を通して、社会的事象の意味について考える力を育てていきたい。

4 単元の指導計画

1 単元の目標		
<p>○我が国の自動車工業の様子に関心を持って意欲的に調べ、働く人々の工夫や努力によって国民生活を支える我が国の工業生産の役割や発展について考えようとしている。 (社会的事象への関心・意欲・態度)</p> <p>○我が国の自動車工業について調べた事実を関連付け、自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることや工業の発展について考え、適切に表現することができる。 (社会的な思考・判断・表現)</p> <p>○我が国の自動車工業について具体的な調査活動や文章、写真資料、地図、統計などの資料を活用して適切に読み取り、調べたことや分かったことをワークシートやカードなどにまとめることができる。 (観察・資料活用の技能)</p> <p>○我が国の自動車工業に携わる人々の様々な工夫や努力、工業生産を支える貿易や運輸の働きや自動車工業が国民生活を支える重要な役割を果たしていることを理解することができる。 (社会的事象についての知識・理解)</p>		
2 単元の指導計画 (10時間)		
段階	おもな学習活動	指導上の留意点と評価 (◎)
つかむ	<p>日本の自動車について考えてみよう。</p> <p>○保護者アンケートから自動車と生活の関わりを確認する。 ○各国の国産車の割合や世界の日本車信頼度ランキングを見て、気付いたことや不思議に思ったことを発表し合う。 ○単元の学習問題を決める。</p> <p>なぜ日本の自動車は、日本や世界で人気があるのだろうか。</p>	<p>・保護者アンケートの結果を掲示して、児童が日常生活と自動車の関わりについて発言できるようにする。 ・児童の発言を整理し、日本の自動車は国内はもちろん世界中で使われているという事実を確認できるようにする。 ◎自動車とわたしたちの生活の結び付きや、日本車の評価の高さに気づき、進んで疑問点を見付けようとしている。 (関心・意欲・態度 児童の発言、ワークシート)</p>
	<p>自分で調べたいことやその方法を出し合い、学習の計画を立てよう。</p> <p>○単元の学習問題について予想し、調べることを話し合う。 ○調べる方法を考え、話し合う。 ○調べる内容や順序、方法を全体で話し合い、決定する。</p>	<p>・予想を分類し、調べる内容を考える手がかりにする。 ・見学の視点や聞き取り調査の内容をはっきりさせる。 ◎これまでの学習を基に自動車工業について調べたいことを整理し、意欲的に調査活動に臨もうとしている。 (関心・意欲・態度 児童の発言、ワークシート)</p>
調べ	<p>部品工場ではどのように部品をつくらせているのだろうか。</p> <p>○部品工場の生産の様子を見学する。 ○働いている人の話を聞き、分からないことを質問する。 ○部品工場の生産や働く人の工夫や努力をまとめる。</p>	<p>・見学の視点を意識しながら見学できるよう助言する。 ・「人・物・きまり」に着目しカードに書くよう助言する。 ◎部品工場の生産や働く人の工夫や努力について調べたことをカードにまとめている。 (技能 カード)</p>
	<p>組み立て工場ではどのように自動車をつくらせているのだろうか。</p> <p>○自動車の生産工程について調べる。 ○働いている人の様子や生産上のきまりについて調べる。 ○組み立て工場の生産や働く人の工夫や努力をまとめる。</p>	<p>・作業工程の資料から、働く人の工夫や努力に着目させる。 ・「指示ピラ」、「ジャストインタイム」などの用語は、具体的な資料を示しその内容をカードに書くよう助言する。 ◎組み立て工場の生産や働く人の様子について、各種資料から具体的に読み取っている。 (技能 カード)</p>
	<p>完成した自動車は、どのようにして消費者にとどめられるのだろうか。</p> <p>○組み立て工場と部品工場の関係について調べる。 ○自動車が消費者に届く過程や輸送手段について調べる。 ○工場間の連携や消費者に届く過程についてまとめる。</p>	<p>・学習の振り返りや図から工場間の連携に着目させる。 ・自動車が消費者に届くまでの過程の資料を提示し、輸送面の工夫や努力、現地生産の仕組みに気付くよう助言する。 ◎工場間の連携や自動車が消費者に届く過程について理解している。 (知識・理解 ワークシート)</p>
	<p>人と環境にやさしい自動車づくりのために、どのようなことをしているのだろうか。</p> <p>○高齢者の事故や排気ガスの大気汚染などの問題を知る。 ○自動車の研究や開発、企業の取組について調べる。 ○人と環境にやさしい自動車の研究・開発をまとめる。</p>	<p>・少子高齢化や環境問題など社会的な側面から自動車工業について考えられる具体的な資料を提示する。 ・開発の目的に着目して考えるよう助言する。 ◎人と環境にやさしい自動車づくりの研究・開発について理解している。 (知識・理解 ワークシート)</p>
	<p>自動車づくりのこれまでの学習を整理し、日本の自動車づくりの役割を考えよう。</p> <p>○調べたことを分類し、関連するところを考える。 ○自分の考えを記入したカードを構造図に整理する。 ○構造図を見ながら日本の自動車づくりの重要な役割について話し合い、全体のまとめをする。</p>	<p>・共通点を見付けられない児童には、調べた具体的事実に対する目的を記入した部分を見て考えるよう助言する。 ・関連を考えられない児童には、人々が必要とする自動車づくりや生産の工夫などの視点を与える発問をする。 ◎国民生活を支える日本の自動車工業の重要な役割について調べたことを関連付けて考えている。 (思考・判断・表現 カード、ワークシート)</p>
	<p>日本の自動車づくりの未来はようになっていくのだろうか。</p> <p>○世界の自動車生産台数の推移についての資料を見る。 ○資料から気付いた点や疑問点を整理し学習問題を決める。</p> <p>日本の自動車づくりをこれからどうしたらよいか。</p> <p>○資料から生産が多い国の自動車づくりの特色を見付ける。 ○日本の自動車づくりの長所を考えワークシートに書く。</p>	<p>・資料を段階的に見せ、日本をはじめ主要な自動車生産国の生産量の変化に気付くようにする。 ◎日本の自動車工業の役割や発展について進んで調べようとしている。 (関心・意欲・態度 ワークシート)</p> <p>・資料から中国は低価格、アメリカは品質向上という特色に気付かせ、それを手がかりに日本の長所を考えさせる。</p>
とらえ	<p>日本の自動車づくりをこれからどうしたらよいか考えよう。</p> <p>○学習問題に対する自分の考えをワークシートに書く。 ○構造図から、関連付けた具体的事実のカードを取り出し、自分の考えの根拠を見付けて文章にまとめる。 ○グループで自分の考えを発表し合い、意見交換をしながら、自分の考えを確認する。</p>	<p>・根拠のカードが見付からない児童には、前時の学習内容や構造図から関連するカードを見付けるよう助言する。 ・意見が出ない児童には、「その考えに納得したか」、「自分の考えと比べてどうか」を考えるよう助言する。 ◎日本の自動車工業の役割と発展について考えている。 (思考・判断・表現 児童の発言、ワークシート)</p>
	<p>日本の自動車の人気が続くように、自動車づくりの「今」と「これから」をまとめてレポートを書こう。</p> <p>○前時で考えた内容について全体で発表し合う。 ○日本の自動車工業について自分の考えをまとめる。</p>	<p>・「今」と「これから」の段落を分けて書くよう助言する。 ◎日本の自動車工業が様々な工夫や努力によって維持発展し、国民生活を支える重要な役割を果たしていることに気づき、自分の考えを分かりやすく表現している。 (思考・判断・表現 レポート)</p>
まとめ		

5 本時の学習

(1) 目標

日本の自動車工業の役割と発展について考えることができる。

(2) 準備・資料

児童が作成した構造図，ワークシート，前時の板書をまとめた資料，話し合い活動の手引き

(3) 展開

時間	学習活動・内容	指導上の留意点・評価
5分	<p>1 本時の課題を確認する。 (1) 前時に設定した学習問題を確認する。 (2) 本時の課題をつかむ。</p>	<p>・前時の資料や学習問題を掲示し，本時の課題を確実にとらえられるようにする。</p>
<p>日本の自動車づくりをこれからどうしたらよいか考えよう。</p>		
23分	<p>2 学習問題について，自分の考えを組み立てる。 (1) 構造図や前時のワークシートを参照して，自分の考えを書く。 (2) 自分の考えの根拠を構成できる学習カードを見つけてワークシートに貼る。 (3) 自分の考えを文章にする。</p>	<p>・前時の学習から，学習問題について日本の自動車づくりの「長所」を伸ばすという視点で考えられるようにする。 ・自分の考えの根拠が見付けられない児童には，前時の学習で考えた「理由」の項目に当てはまる具体的事実を見付けるように助言する。 ・自分の考えやその根拠を表す言葉(「～すればいいと思う」，「なぜなら～」)について，必要と思われる語句を黒板に掲示し，児童が活用できるようにする。</p>
10分	<p>3 グループでお互いの考えを発表し合い，意見交換をする。 (1) お互いの考えを発表し合う。 (2) 発表を聞き合って，意見交換をする。 (3) ワークシートの「3つのチェックポイント」を使って自分の考えを確認する。</p>	<p>・必要に応じて「話し合い活動の進め方」を参照し，スムーズに話し合いができるようにする。 ・話し合いに参加することが苦手な児童には，「友達の考えが分かるか」「自分が『たしかに』と思う理由があるか」というポイントを示して意見が言えるように助言をする。 ・意見交換後，チェックポイントを確認するように指示し，自分の考えの信頼性や妥当性を確かめられるようにする。</p>
<p>㊦ 日本の自動車工業の役割と発展について考えている。 【思考・判断・表現】 (児童の発言，ワークシート)</p>		
7分	<p>5 学習の振り返りをして，次時の学習を確認する。 (1) 振り返りカードに，本時の学習で気付いたことや自分の考えの変化について書く。 (2) 次時の学習課題を確認する。</p>	<p>・本時の活動を生かして，次時の活動を行うことを確認し，目的を持って活動ができるように助言する。</p>
<p>日本の自動車の人気が続くように，自動車づくりの「今」と「これから」をまとめてレポートを書こう。</p>		

社会科「自動車をつくる工業」①

5年 名前

日本の自動車について考えてみよう。

- 1 国内で走っている自動車が100台あるとすると、そのうち何台が自分の国の自動車会社の自動車でしょうか。また、アメリカではどうでしょう。

予想		答え	
 日本	 アメリカ	 日本	 アメリカ
100台中自分の国の車 台	100台中自分の国の車 台	100台中自分の国の車 台	100台中自分の国の車 台

(思ったこと)

- 2 自動車会社のしんらい度（安心できる車）ランキングを見てみましょう。日本の自動車会社はベスト10までにいくつ入っているでしょう。

世界の自動車会社の数…約400社

日本の自動車会社の数… 14社

予想	答え
ベスト10のうち 社	ベスト10のうち 社



(思ったこと)

- 3 1と2の結果から、どうしてだろう？なんでかな？と思うことを書いてみましょう

- 4 これからみんなで調べていくこと（学習問題）を確かめましょう。

社会科「自動車をつくる工業」②

5年 名前

自分で調べたいことや方法を出し合い，学習の計画を立てよう。

- 1 これからみんなで調べていくこと（学習問題）を確かめましょう。

--

- 2 学習問題についての予想（今のところ自分はこう思う）をできるだけたくさん書きましょう。



（予想）

（どんなことを調べればいいのか）

- 3 予想を確かめるために，どのように調べたらいいと思いますか。調べる方法をできるだけたくさん書きましょう。

--



- 4 学習計画を立てましょう

つかむ (2時間)	調べる (4時間)	とらえる (3時間)	まとめる (1時間)

いよいよ調べ学習が始まりますね。

たくさん調べて，発見して，日本の自動車づくりのひみつをさがしましょう！

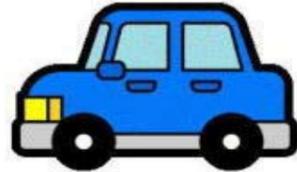
社会科「自動車をつくる工業」⑦

5年 名前 _____

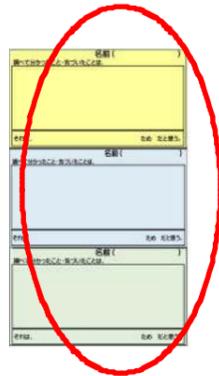
自動車づくりの今までの学習を整理して、日本の自動車づくりの役割を考えよう。

1 自分たちの調べたことをつなげてピラミッド図をつくりましょう。

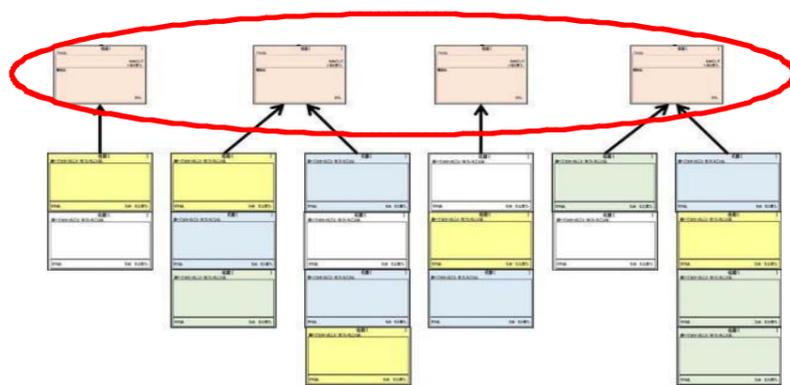
(1) 今まで自分たちが書いてきた「調べるカード」を全部ならべる。



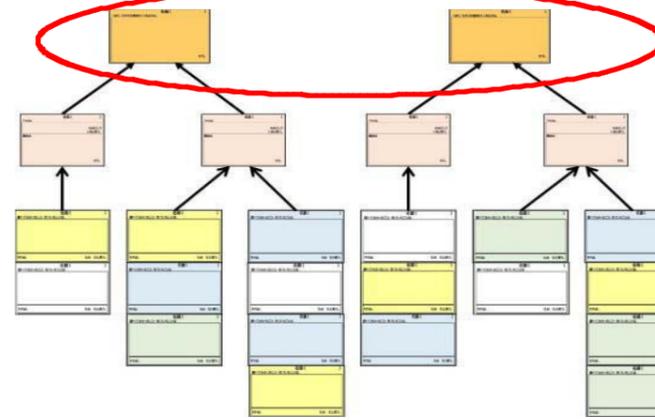
(2) 1枚1枚の「調べたカード」に書いてあることをよく見て、「同じだな」「にているな」「関係がありそうだ」と思ったカードどうしをたてにつなげる。
(どのカードにもつながらない、関係ないというカードはそのままでもよい。)



(3) つないだ「調べたカード」の上に、「どんなことが同じか」「どんなことがにているか」「どんな関係があるか」を考えて、「何のためカード」(ピンク)に書き、やじるしでつなぐ。



(4) 「つなげるカード」をよく読んで、「働く人のねがい」や「だれにとって、どんないいことがあるか」を考えて、「まとめるカード」(オレンジ)に書き、やじるしでつなぐ。



人気のひみつを発見できたかな？

2 今日の学習のまとめをしましょう。

3 今日の学習をふり返りましょう。

・日本の自動車づくりについて、あなたが考えたことを書きましょう。

次は、みんなが調べたり、考えたりしたことを使って、新しい問題にチャレンジしましょう！

社会科「自動車をつくる工業」

学習カードの使い方

【調べるカード】

名前()

調べて分かったこと・気づいたことは、

工場の屋根に太陽光パネルがたくさんはってある。

それは、 電気代をせつやくする ため だと思う。

上に書いたことは、何のためにやっていると思うか、考えて書いておきましょう。

見学したり、資料で調べたりして分かったことを1つずつ書きましょう。

このカードをつなげて、自分の考えをまとめていきます。なるべくたくさんのカードを書きましょう。

【つなげるカード】

名前()

これらは、

エネルギーのむだづかいをなくす ためにしていると思う。

理由は、

地球の環境をまもりたい から。

つなげた「調べるカード」に共通する「何のために」を書きましょう。（「調べるカード」の下に書いたことがヒントになります。）

つないだ理由を書きます。例えば、

- ・働く人のねがい
- ・だれにとって、どんなことがいいか

を考えてみましょう。

【まとめるカード】

名前()

つまり、日本の自動車が人気なのは、

から。

日本の自動車づくりには、どんな役割があるのか、考えて書きましょう。（つなげるカードの下に書いたことがヒントになります。）

社会科「自動車をつくる工業」⑧

5年 名前 _____

○めあて

日本の自動車づくりの未来はどうなっていくのだろうか。



- 1 世界の自動車生産台数の移り変わりを見て、気付いたことを書きましょう。

(2004年まで)

(2005年～2011年)

- 2 1で気付いたことから、これからの日本の自動車づくりについて考えたことを書きましょう。

- 3 これからみんなで考えること（学習問題）を確かめましょう。

- 4 資料から、自動車の生産台数が多い国の自動車づくりの長所をみつけて、書きましょう。

(中国)

(アメリカ)

- 5 日本の自動車づくりの長所は何だと思いますか。理由も書きましょう。

長所

理由



社会科「自動車をつくる工業」⑨

5年 名前 _____

○めあて

日本の自動車づくりをこれからどうしたらよいか考えよう。

- 「これからの日本の自動車づくりをどうしたらよいか」自分の考えを書きましょう。
理由は、自分が作った図の中から当てはまるカードを見つけてはりましょう。

自分の考え	理由 カードをはりましょう。

- 自分の考えをまとめましょう。

- 自分の考えをグループで発表し合い、チェック してみましょう。

1 みんながなっとくする理由があるか。	2 ほかにもっとよい考えはないか？	3 本当にその考えでよいか。
だれが見てもまちがいないこと（見学したり、調べたりしたこと）がふくまれていますか。	友達からもらった意見やアドバイスを参考に、もっとよい考えはないか見直しをしましたか。	「自分はこう思う!」と自信を持って言えますか。自分の考えに「?」はありませんか？

- 今日の授業の感想を書きましょう。（新しく気付いたこと、考えの変わったところ・つけたしたところなど）
